

HAT CROSS

神戸赤十字病院広報誌
2004.夏号 Vol.3

ERUテント内



処置台



救護ベッド



通信機器



ERUを稼動しての訓練(第11回 第4ブロック合同訓練より)

ERU Emergency Response Unit

緊急仮設診療所の配備と 広域災害救護訓練

神戸赤十字病院 診療部長兼外科部長 坂田 龍彦



阪神・淡路大震災を契機として構想・新設された神戸赤十字病院は、地域医療・救急医療・災害医療の中核的な役割が果たせるように、また安全で安心と信頼が得られる病院になるべく、全職員が研鑽努力しております。

赤十字病院として特筆すべきは、広域災害発生時には赤十字独自の救護活動を展開することであり、当院もその中心的役割をになうため日頃より訓練に励んでおります。本年度より、国内型緊急対応ユニット(D・ERU)が当院に配備されました。これは日本赤十字社医療センターに次いで本邦では2番目です。日赤本社が当院を西日本の災害救護の拠点として位置付けたことにより当院に配備されたものです。

ERU (Emergency Response Unit)：緊急仮設診療所とは、もともと国際赤十字が迅速で効果的な緊急援助を展開できるように、診療所・病院・通信設備等の資機材をユニット化して常備しておき、災害発生と共に被災地へ送り、迅速に活動を開始できるように導入したものです。それをもとに国内用に設計されたものが、国内型緊急対応ユニット(D・ERU)です。国内型ERUは9m×9m×4mの大型エアートtent、1日100人の患者さんを2〜3日治療できる程度の医薬品および医療資機材、浄水器、通信設備(衛星通信を含む)等が入ったコンテナと積載量3.5tの4輪駆動トラックが1ユニットで、そのまま移動して、被災地で展開できるように設計されています。被災地内を進行しやすいように、乗用車が通れる程度の道幅であれば通行が可能で普通免許で運転



ERU搬送トラック

当院にはこれまで医療職員・事務職員を中心に構成された災害救護班が5班(各班6名)あり、災害救護訓練をおこなってまいりましたが、ERU配備を受け、さらにERU救護班を2班(各班4名)設けました。もとより日赤職員は全員が災害救護活動に尽力する使命を持っております。現在ほぼ毎月、救護班とともに他の職員も参加して、ERU設置訓練を中心とした災害救護訓練をおこなっております。

去る5月22日23日には、近畿2府4県の赤十字社支部・赤十字病院の救護班・奉仕団が集まって、第11回日本赤十字社第4ブロック合同災害救護訓練が滋賀県で実施されました。阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、滋賀県東近江地域に震度7の大地震発生を想定し、各支部相互間による初動時救護活動の総合訓練を行いました。兵庫県からは赤十字奉仕団・赤十字無線救護奉仕団の方々、兵庫県支部職員・血液センター職員、神戸・姫路・中町・柏原の赤十字病院の救護班各1班と神戸のERU救護班2班、そして模擬患者役として姫路赤十字看護学校の多数の学生さんが参加しました。ERUでは神戸のERU救護班を中心に神戸・姫路・京都の救護班の協力のもとに新しい初動救護訓練が行われ、評価も良好でした。

阪神・淡路大震災後10年をむかえる来年には、兵庫県が当番幹事となって第12回日本赤十字社第4ブロック合同災害救護訓練がおこなわれます。神戸赤十字病院とERUが中心的役割を果たすこととなります。災害発生のおこらぬ事を祈りながらも、万一の場合には充分な役割を果たせるよう、実務に即した救護訓練を今後も展開してまいります。

診療科 クローズアップ

VOL.2

「こどもたちの健やかな成長・発育を支援します」

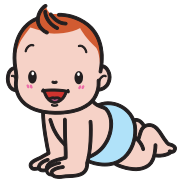
小児科部長 吉新先生



吉新小児科部長



小児科



こんにちは、よしあらし
よういちです。小児科は生
まれた直後の新生児から、
15歳・中学3年生までの、
こどもの内科疾患を診る
科です。小学校高学年とも
なれば受診の際、どう調子が悪いのかしつかり
訴えることができる子もいますが、大半は保
護者の方（お母さん）からお子さんの
症状や心配事をお聞きし、その情報をもと
に診察をします。熱がある、発疹がでている
など客観的にわかる所見も大事です。それと
同じくらい、機嫌のよしあし・遊ぶ活気のある
なし・おっぱいを飲む力や食欲・おしっこ
の回数や量など、普段の様子とどう違うのか
を教えていただくことが重要です。それらは
病気の重さの目安であり、検査が必要か、治
療方針をどうするか
を判断する手がかり
になります。最近仕事
をもつお母さんが
増えています。おばあ
ちゃんや身内のかた
にお子さんの受診を
託される場合は、メモ
書きで結構です、お子
さんの症状・様子をな
るべく詳しく添えて
くださることを願います。

「**外来診療は午前が一般診察、午後は専門外来です**」

一般診察ではおもに急性の病気を診てい
ます。その多くは感染症ですが、当院では迅
速診断検査が充実しており、溶連菌（のどの
検査）・インフルエンザウイルス（鼻）・RSウ
イルス（鼻）・アデノウイルス（のど）・マイ
コプラズマ（血液）・ロタウイルス（便）の
検査が約30分で可能です。疑いのあるとき診
断確定のためお勧めしています。参考に下記
に表を示します。



プレイルーム

「**小児・女性患者さまを主とした病棟が今年4月、6階東にオープンしました**」

こどもの入院は本人がつかないのはもちろんのこと、家族みんなに大変な心配と負担をかけるものです。私どもは、病状・治療方針・退院の目標をきちんとお伝えし、明るい環境の中で、できるだけ不安なくすごしていただくように、と考えております。

こどもたちの元気な笑顔がみられる、健やかな成長・発育を願いながら、小児科スタッフ一同、皆様に信頼していただける診療を心がけてまいります。

専門外来

腎臓・アレルギー外来

（金曜、吉新祥一）

（午後完全予約制）を紹介します。

発達行動心身外来

（水曜、山辺ゆかり）

発達が遅れているのでは？登校したいのに調子が悪くて。といった心配・不安の相談や診断・フォローアップをおこなっています。

アトピー外来

（月・水・木曜、田村京子）

アレルギー（主にアトピー性皮膚炎・食物アレルギー）を診ております。きめ細やかなスキンケア・食事指導など定評があり、遠方から受診される方も多いです。

予防接種・乳児健診

（火曜、吉新・山辺）

小児科のとても大切な分野です。生後3ヶ月過ぎたら、BCG（最寄の保健センターで）そしてDPT（3種混合）をつけましょう。そして1歳のお誕生日がきたら麻疹（はしか）のワクチンをぜひうけましょう！

（表）迅速診断ができる病気

原因	病気	主な症状	かかりやすい年齢	多い季節
溶連菌	扁桃炎 溶連菌感染症	発熱 のどの痛み 発疹	幼児 学童	冬～春
インフルエンザウイルス	インフルエンザ A・B	高熱 倦怠 せきはな	生後6ヶ月～全年齢	冬～春
RSウイルス	細気管支炎	ぜいぜい 哺乳不良 呼吸苦	乳児（生後1ヶ月～1歳）	冬～春
アデノウイルス	扁桃炎・プール熱	高熱 のどの痛み 結膜炎	幼児 学童	夏～冬
マイコプラズマ	肺炎 気管支炎	発熱 がんこなせき	幼児 学童	年中
ロタウイルス	嘔吐下痢症	おう吐 発熱 白い下痢 脱水	生後6ヶ月～3歳	冬～春



田村医師・吉新医師・山辺医師

① マンモグラフィって何ですか？

マンモグラフィとは、乳房のX線撮影のことで、主に乳がんの診断に用いられます。乳がん検診は、従来触診を中心に行われてきましたが、最近ではこのマンモグラフィや超音波検査を併用することが多くなってきました。なぜなら、触診だけでは分からないような小さな乳がんもこれら検査により早期に発見できるからです。欧米では、マンモグラフィによる検診が一般化しています。

撮影には、写真のようなマンモグラフィ専用の装置を使用します。2枚の板で直接乳房を挟んで撮影を行います。少し強引な感じもしますが、きちんとした写真をとる、放射線被曝を少なくするという2つの意味で大切な技術なのです。なお、当院では、撮影はすべて女性の放射線技師が担当しています。

放射線科 副部長 森 岳樹



マンモグラフィ

お薬 四方山話

2

『喫煙とお薬』

薬剤部 戸谷 幸雄

タバコの喫煙による害については、発癌性や循環器系の病気の危険因子としてよく知られています。一方、特定の薬の効果を低下させる事があります。

人体は体内で多くの種類の酵素をつくり代謝・排泄を行っています。タバコの煙もこれらの酵素で代謝・排泄されます。さらに喫煙は体内で酵素を過剰につくり、代謝・排泄を助長する働きがあります。

従って、喫煙者では、特定の薬剤において非喫煙者に比べ同じ使用量では十分な効果が得られないということが起こります。例を挙げますと、喘息治療薬のテオフィリンです。喫煙者は非喫煙者の1.5〜2倍の量

を服用しないと同じ効果が得られないといわれています。また、抗不整脈薬のプロプラノロールでは、喫煙者は2.7倍も薬の分解が促進されることがあります。

このことは、薬の体内動態、すなわち薬が消化管から吸収された後、肝臓で代謝・排泄を受け、残りが血液により全身に運ばれて効果を現す一連の流れにおいて、代謝・排泄の亢進という変化が生じた結果であります。

タバコは百害あって一利なしと言われます。是非禁煙しましょう。



豚のしょうが焼き

【1人当たり 180kcal】
タンパク質 14.5g
脂質 10.3g



材料(4人分)

しょうが	3g
たまねぎ	5g
サラダ油	3g
ニンニク	1g
食塩	0.3g
コンソメ	0.3g
白コショウ	0.02g
豚もも肉	60g
キャベツ	50g
アスパラ	30g
しょうゆ	4g
みりん	2g
清酒	2g

作り方
しょうゆ、酒、多目のおろししょうが、ニンニクをあわせ、豚肉をつけて20分くらいおく。フライパンに油を熱し、豚肉を上げて入れ、両面に火を通す。
のつけじても加えてからめる。
キャベツとアスパラはソテーする。
おろししょうがはチューブ入りでもいいですが、しょうが、ニンニクは出来るだけ生を使いましょう。

夏バテは「暑さ」というストレスを受けた体に、食事や生活の乱れが拍車をかけて起きます。

夏バテを防ぐには、「3回の食事をバランスよくとる」ことが大切です。とくに、暑さ、強い日差しなどのストレスに対抗するために、野菜とおかずをきちんと食べて、たんぱく質を確保します。のどごしをよくするといった調理の工夫や、献立に冷たいものを組み入れたたりすることも効果的。また暑さで弱りがちな胃の負担を軽くするために、消化のよい食事を心がけることも大切です。

カレー粉やキムチの素、唐辛子粉などのスパイスや酸味をきかせた料理も食欲増進につながりますし、しそ、しょうが、みょうが、ニンニクなど香味野菜を上手に使うと栄養もあり夏バテ防止効果満点です。

例えば、疲労回復にはビタミンB1が効果的ですが、豚肉のビタミンB1とニンニクのアリシンが結びつく働きを更に高めるので、普通に焼肉をするより、ニンニクと一緒に焼いた方がより良いといわれています。暑いときには食欲が落ちたり、やる気が出なかつたりしますが、こんなときこそ差がつくのです。きちんと栄養を考えれば、夏バテを吹き飛ばすのは簡単です。夏バテに負けず、頑張ってください！

栄養課 だより



すずらん贈呈式

6月9日午後、『すずらん贈呈式』が、一階ロビーにて行われました。神戸赤十字病院としては10回目、新病院開設後は初めての贈呈式でしたが、全日空より全国の赤十字施設へ毎年届けられています。「すずらんの花言葉のようにしあわせになっていただけなら」(客室乗務員：渡辺様)という想いをこめて全日空の皆さんで手作りされた「すずらんの押し花」。贈呈式のあと、客室乗務員の方より、会場の患者様や病室の患者様にカードが手渡され、心和む午後のひとつときとなりました。



一枚ずつ心をこめて

H A T 健康セミナー報告

整形外科部長 伊藤 康夫

去る5月12日、当院研修室にて第3回 HAT 健康セミナーが開催されました。今回のテーマは腰痛であり、整形外科から伊藤康夫、理学療法士から高橋研二、栄養士から福井俊弘が、それぞれ、テーマを決めて、講演を行いました。当日の出席者は81名で、お忙しい中多数の参加を感謝申し上げます。皆様方の腰痛に対する関心の高さを物語るものと考えております。

腰痛は人間が2本足歩行を開始して以来、宿命とも言える疾患であり、高齢化社会を迎えている現在、QOL (Quality of Life) を考える上でその予防、ならびに治療は重要な問題です。腰痛の原因は多岐にわたり、治療法もさまざまです。数日で軽快しない、または下肢症状(下肢痛、下肢のしびれ、歩行障害、筋力低下など)を伴う場合は、民間療法(カイロプラクティック、鍼灸を含む)などに頼らず、専門医の受診をお勧めします。

当院整形外科、リハビリテーション科では、取り扱う疾患の大きな柱の一つでもあり、保存療法、手術療法など、多岐にわたる治療法の中から、個々の病態に合った治療法を選択し、説明申し上げます。疾病に対して予防に勝るものは無いと思いますが、上記の症状に対しては整形外科受診をぜひお勧め致します。



基本方針

1. 患者さまを中心として、人権と意思を尊重し、安心と満足が得られる医療を提供いたします。
2. 地域医療機関との連携を保ち、患者さまに一貫した医療を提供いたします。
3. 救急医療、災害救護活動、国際救援活動を行います。
4. 内外の医療従事者の育成に努めます。
5. わたしたちは、日々研修・研鑽に、明るく活力のある職場づくりに努めます。

患者の権利に関する宣言

神戸赤十字病院は、医療の中心は患者さまであり、医療行為が患者さまと医療関係者との信頼関係の上に成り立つものであることを深く認識し、ここに、「患者の権利に関する宣言」を制定いたします。

当院の全職員は、この、「患者の権利に関する宣言」を守り、患者さまの医療に対する主体的な参加を支援して参ります。

1. 個人の尊重

個人として、その人格・価値観などが尊重されます。

2. 最善の医療を平等に受ける権利

最善の医療を平等に受ける権利があります。

3. 知る権利

自分が受けている医療について知る権利があります。

4. インフォームド・コンセント

自分が受ける検査や治療の内容や危険性、他の方法の有無などについて、十分に理解できるまで説明を受ける権利があります。

5. 自己決定権

十分な説明と情報提供をうけたうえで、自己の自由な意思に基づいて、治療方法を選択したり医療行為を拒否する権利があります。

6. プライバシーの権利

自分の情報を承認なしに第三者に開示されない権利があります。

TOPICS

大盛況!

七夕コンサート

の星』でラストに相応しく、マンドリンの音色が耳に残って終わるのが惜しいぐらいになりました。きつと参加された皆様も同じ思いだったと思います。



IFDビーゴコンサート会場に

今後、広報委員会として、こういったコンサートを開催して患者様や地域住民の皆様にも心置きなく楽しんでいただきたいと思います。

広報委員会としては、2回目の院内コンサートを開催し、前回のクリスマスコンサートに負けられないの患者様と、地域住民の方が参加され熱気ムンムンでした。今回は、マンドリンを中心としたボランティアグループ「アンサンブル・ルミナール」の皆様による演奏で、1階ロビーいっぱい美しい音色が響き渡ってました。

また、それぞれの曲が始まる前には、指揮者の村上省一氏が曲説明をしてくださり、アットホームな雰囲気のもと曲が進んでいき、最初の『いつも何度でも』で胸が高鳴り、『川の流れるように』で心が研ぎ澄まされ、『瀬戸の花嫁』では患者様の大合唱で一体感を感じ、最後の『デイズ・ニ・メドレー』ではどこからともなく手拍子が起こり最高潮になり曲が終わると同時にアンコールの大合唱となりました。



願いこもる短冊

去る7月5日(月)、神戸市立なぎさ小学校の4年生の女子生徒さん3人が「神戸赤十字病院」の記事を学級新聞に掲載したいと突撃!取材に来院されました。

「普段見られない所を取材したい!」とのことで、手術管理室からは手術室のモニタを見ながら説明を受け、臨床検査室では輸血用血液や最新の機器を見学、栄養課の厨房では調理師さんの服装に着替えて大きな釜や鍋やパン焼き機を見学し配膳の流れ作業の説明を受けました。

放射線科では骨折の画像データを見ながら当院の特色でもあるフィルムレスの運用説明を受け、6階病室をまわり、最後にERU車、救急車の運転席にも乗って車の大きさと災害救護の重要性を体験されました。

ちびっこ記者さんの質問は、「赤十字病院と他の病院との違いは?」や、放射線科ではフィルムレスの運用説明を受けて「どうしてレントゲンフィルムは使わないのですか?」となかなかポイントを得た、するどい質問にびっくりしました。

これを機に、当院のこと赤十字のことに少しでも興味をもつていただき、より身近に感じてもらえればと思います。

小学生新聞記者、病院取材に来院!



車椅子にシユノーケル? 病院玄関の外来用、各詰所の車椅子を少し注意深く見てください。背もたれの後ろにシユノーケル?が付いています。車椅子用の点滴スタンドです。このスタンドは、NPO「神戸長田」のボランティア(理事長:木村武司氏)から、このたびご寄贈いただきました。病棟等で使用している点滴スタンドの上の部分に差し込むだけ...看護部でもお気に入りの優れものです。

寄贈者の木村さんは、阪神淡路大震災の被害が大きかった、神戸市長田区で鉄工所を営む一方、NPO活動も主宰され、多くの不自由な人々に多角的な支援活動を行っておられます。そんな環境で生まれた車椅子用点滴スタンド。木村さんのやさしい気持ち、患者さんに伝わっていきます。



左脇筒部がさしこみ口に

車椅子用点滴スタンドの寄贈を受ける

